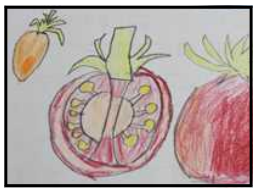
大仙市立中仙小学校　学校報　令和４年度 NO.１４　令和４年７月５日

夢に向かって　笑顔いっぱい　みんなでチャレンジ

輝く ひとみ



トマトも よろこぶ 絵

“楽らく 笑SHOW”な学校　なか１０００笑楽校

７月　夏本番　あと９回で　「夏休み」だよっ！

夏休みまで、残りあと９登校日です。「夏休みのドリル」「夏休みの生活」など、職員室には『夏休み』という言葉がたくさん見られるようになりました。

そんな中、４～６年生がプールの掃除をがんばりました。６年生が大プール、５年生は小プール、４年生はプールサイドの担当でした。中仙の「まじめさとていねいさ」という“強み”を生かし、すっかりきれいにすることができました。

夏休みの学習と生活については、よく話し合って、できる目標を設定することが大切だと思います。

つまり、親は

子どもが自分の力で
跳べるハードルを
設定してあげる。

そして、将来の“夢”と“自立”に向けて、子どもと一緒に、夏休みの準備を楽しんでください。

今年初めての 指導主事訪問！

二つの特別支援学級で授業の研究会がありました。

「もも組」では、算数の長さの勉強を、「うめ組」では、算数の３けたの計算の勉強を見せてくれました。

実際に、マットなどの長さを巻き尺で測ったり、自分で選んだ数で計算を繰り返したりすることで、その時間だけでも、どんどんできることがパワーアップしていく様子がとっても素晴らしかったです。

斎藤先生と進藤先生の授業に向けた準備のていねいさと、それから何よりも、二人の子どもたちの集中力に大きな拍手が送られました。

3年生・市内のフィードワーク

３年生になって、新しく学習している社会科の勉強として、中仙地域だけではなくて、大仙市全体の見学が続きます。

この日は大曲地域と仙北地域。「はなび・アム」では、３年ぶりに開催される『大曲の花火』について、「旧池田氏庭園」では、豪華で壮大な建物や石灯籠に触れることができました。

「大仙ふるさと博士」へのチャレンジも増えそうですね。

初の授業参観　ひさしぶりのPTA

今年度初の授業参観を、当たり前のような形で実施することができました。子どもたちは学年が一つ上がって、担任の先生も新しくなりました。昨年との違いや３か月の成長を感じることができたのではないでしょうか。

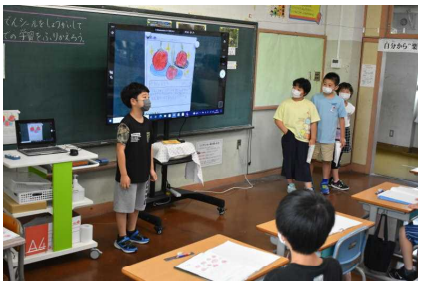
写真のように、どの学年でもタブレットや電子黒板が使用されています。これまで以上に便利になったことが増えましたが、ここまで来るのが一苦労。「まず使ってみよう」というレベルから、次の段階の『よりよく使う』レベルを目指しているところです。

夏休み中も各家庭で『よりよく使う』ための、場所などの環境整備や、安全に使うためのルールづくりの準備をお願いします。

家庭の学習で大切なことは、

①いっしょにやること　②やり方をていねいに教えること　③できることは任せること

タブレットも、この段階が大切だと思います。まずは一緒に楽しんでください、



蒸し暑い日の参観で、苦しい思いをさせてしまいましたが、約１００％の出席率に感謝いたします。朝から子どもたちは親の来校を待ち望んでいました。授業中のがんばりや、掲示されている作品から、子どものよさを伝えてあげられたでしょうか？ＰＴＡの学習参観や学校行事は、子どもをほめる最高のチャンスと捉えて、次回は学習発表会でお会いできることを楽しみにしています。

学校評議員の皆様による授業参観

ＰＴＡと同時に、中仙小学校の応援団である学校評議員の皆様にも、５時間目の授業と全体会にご参加いただきました。

～学校評議員の皆様～

伝農　富士夫さん　　髙橋　修　さん
仲野谷美緒子さん　　森川　剛　さん

コロナ禍でもマスクを着用して、健やかに熱心に勉強していることや、ＩＣＴの導入に感心していました。

そして、これからも中仙小学校の子どもたちの安心と安全のために、学校と連携していくことを温かくお話していただきました。

市・教育アドバイザーによる授業参観

大仙市教育委員会の教育アドバイザーである嵯峨康弘先生から、全校の学習の様子をご覧いただき、参観後の懇談では次のようなお話をいただきました。

私には、どの学級も明るく元気に勉強していることが何よりもうれしい成長の姿でした。

○どの学級も聴く耳が育っていて、ペアの学習も自然で、落ち着いて学習している。
○今日の勉強で何をやるのかがわかっていて、課題が自分のものになっている。
◎先生方の話が、これまでのどの学校よりも少なく、子どもたちで発表をつなげている姿が素晴らしい。この３か月で、先生方が同じ方向に向かって取り組んでいることがよくわかる。
◎先生と子ども、子どもと子どもが共に学ぶことがよくできていて、授業を楽しんでいる。このことが、学校が大好きな子どもの育成にも結び付いている。